

第3章 「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」の育成

「豊かな心」の育成（芸術教育の充実）

芸術教育は、表現や鑑賞の幅広い活動を通して、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、豊かな情操を養うことをねらいとしており、人格形成の基礎として重要な役割をもつ。

1 芸術教育に関する指導の充実

平成28年12月の中央教育審議会答申では、芸術を学ぶことについて、次のように述べられている。

グローバル化する社会の中で、子供たちには、芸術を学ぶことを通じて感性等を育み、日本文化を理解して継承したり、異文化を理解し多様な人々と協働したりできるようになることが求められている。このため、音楽や美術、工芸、書の伝統や文化を尊重し、実感的な理解を深めていくことが重要である。

また、芸術系教科・科目における教育内容の改善・充実について、次のように述べられている。

芸術系教科・科目においては、子供たちが、世の中にある音楽、美術、工芸、書道等と自分との関わりを築いていけるようになることを大切にしている。しかし、授業の中で、なぜそれを学ばなければならないのかということを実感することについては、教員の意識としても、子供たちの意識としても弱いのではないかという指摘もなされている。このため、授業で学習したことが、これからの自分たちの生活の中で生きてくるという実感を持てるよう、指導の改善・充実を図ることが求められる。

2 各学校の創意工夫

学校における芸術教育では、生活や社会の中の芸術の働きや芸術文化と豊かに関わり、生涯にわたって芸術文化を愛好する心情をもてるようにする必要がある。

各学校では、児童生徒一人一人が個性的・創造的な学習活動を行うことができるよう、創意工夫を生かした教育活動を展開することが大切である。

- 美術館等の文化施設、社会教育施設、地域の文化財等の活用や連携
- 実物の美術や書の作品、専門家による演奏の直接的な鑑賞
- 作家や学芸員、音楽団体等、専門家の経験豊かな人材の活用や連携
- 総合的な学習（探究）の時間や学校行事、地域に関係する行事などとの関連
- 我が国や郷土の伝統的な文化に関する指導の充実
- 専門家等の経験豊かな人材の活用
- 芸術と生活や社会との関わりを実感できる指導の充実
- 随時鑑賞に親しむことができるような校内環境の整備
- 感じたことや考えたことを友達と語り合ったり、自分の価値意識をもって批評し合ったりする場の設定 など□

(1) 随時鑑賞に親しむことができるような校内環境の整備<小学校 図画工作科>

【庄原市立山内小学校】

鑑賞のための 環境づくりの工夫



図書のそばに読書感想画や作品を展示することで、描かれている同じ本を手に取り、どの場面を表現しているのかを楽しみにしながら読み進めたり、絵を見てお話を想像したりすることができる。



長いスロープの壁に、全校造形活動の作品を活動のめあてとコメントを添えて展示することで、自分がつくった生き物と、友達がつくった生き物を比較しながら見たり、作品を見ながらお話を考えたりすることができる。



全校造形活動でつくった作品を廊下の天井に展示することで、下を通り抜けるとき、わくわくするような異空間を演出することができる。



小さな作品を針金ハンガーを使ったり、紐で吊り下げたりして立体的に展示することで、自分の作品が大切にされていると実感することができる。

(2) 専門家等の経験豊かな人材の活用<中学校 音楽科>

題材名「謡の鑑賞や歌唱を通して、能の音楽のよさを味わおう」

【三次市立吉舎中学校 第3学年】

学習の流れ

(学校行事) PTA講演会で能楽師大島衣恵さんの話や謡を聴き、「中学生にも能に親しんでほしい。謡を学習してもらえないか。皆さんの謡に合わせて舞をしたい。」と、大島さんから依頼される。

- ① 大島さんに舞ってもらえるような謡を謡うにはどうしたらよいか、課題意識をもつ。
- ② 能「羽衣」を聴き、感じたこと、イメージしたこと、歌詞の読み方、謡の特徴などについて交流し、どのように謡ったらよいか思いや意図をもつ。
- ③ 謡の身体の使い方や声の出し方など、DVD等を参考に練習をする。
- ④ 自分たちの謡を大島さんに聴いてもらってアドバイスをもらい、アドバイスを参考に、自分たちの謡をよくするために、能の背景等と謡の特徴とを関連付けて理解し、表現の工夫をする。
- ⑤ 大島さんの舞に合わせて謡を謡い、能のよさや面白さ、学び方等について振り返る。

指導の工夫

学校行事と関連させ、専門家の生演奏を聴くことで、「やってみたい」という思いをもたせている。また、専門家と一緒に演奏できる場や、学習の途中で専門家からアドバイスをもらったことで、生徒にとって感動を味わえる場となっている。

(3) 感じたことや考えたことを友達と語り合う場の設定<高等学校 芸術科(書道)>

単元名「創作の基本」【広島県立海田高等学校 第3学年】

学習の流れ

- ① 「雪」から思い浮かぶイメージを考え、ワークシートに整理して試書する。
- ② 形の表現を自由にするために、味わいをもたせるための観点を踏まえ、概形を変える。
- ③ 相互に鑑賞を行い、変化を確認した後、「雪」の字を3通りの形に表現する。

指導の工夫

相互鑑賞を行うことで、表現要素を理解し、各自の表現の工夫を行う場面が設定されている。また、多様な造形での表現効果を味わい、そのよさや美しさを創造的に味わう工夫がなされた実践となっている。

